人生は不公平である

「こうあるべき」と「こうである」と言う事は天と地の如く、違う事です。

「人は平等であるべきである」と多くの人が思うでしょうが、「人は不平等である」と言うのがこの世界の実態では無いでしょうか？

平等を謳うマルクス主義やユートピア思想は大人数では機能せず、資本主義は時として、賭博を支持します。

「会社は学歴で人を判断するべきでは無い」、「日本の政治はこうあるべき」、「この人はこうあるべきだから、この人の性格を変えよう」なんて思った所で何も変わりはしないわけです。

現実世界とは、「こうあるべき」とあなたが思う世界よりも、遥かに複雑な成り立ちなのです。

決してあなたが悪いのではないんです。誰かが悪いわけではないんです。ただただ、人間と言う生物、この世界の法則が世界を難しくしているのです。

古代ギリシャの政治家デモステネスは言いました。「人がこうあるべきだと願う事、それは人がこうであると信じる事に知らず知らず変わって行ってしまう」と。

だからこそ大事なのは、人間と言う生物がどう言う生態なのか？と言う事を知る事。ビジネスや人の歴史を勉強し、他人の失敗から学ぶ事。運がどれほど人生に影響するのか、未来がどれだけ奇想天外なのか、と言う事を受け入れる事。そして、その未来がどんな世界になろうが、強く生きる事が出来るように準備する事ではないでしょうか？